

中高－２０１６２６７

平成２９年３月１６日

校長 堤 雅義

保護者 様

学校評価アンケートについて

保護者の皆様には今年度も、本校の教育活動にご理解、ご協力頂き、感謝申し上げます。

さて、この度は学校評価アンケートにご協力頂き、誠にありがとうございました。学園通信日出 Vol 21 でも集計結果をご報告致しましたが、中学校・高等学校として学校運営の改善を図るべく、改めて結果の概要についてお知らせ致します。

中高では、今年度も重点施策を策定し、進学実績の向上を中心に、生徒にとっての魅力ある学校作りを行ってまいりました。

そんな中、注目されるのが「目標の進路」の項目で、いずれの学年の保護者の方も６割以上が「GMARCH」以上と回答されていること、また、「今後の日出学園中学校・高等学校に何を期待しますか」の項目では、保護者・教員ともに「学力向上施策の具現化」がトップに挙げられており、進学に対する期待値の大きさがうかがえる結果となっています。お伝えしていますように、来年度高校１年生より特進コースを設置、他にも夏期英語セミナー、夏期講習の充実など、今後も、学力向上、学習意欲向上に努めてまいります。

また、この「期待すること」に関しては、教員側が「基本的生活習慣」「挨拶などの生活指導」の項目が上位に挙がることに對し、保護者の方の回答割合は意外に低く、「いじめ対策」や「安全対策」の項目が比較的上位に来ていることが特徴となっています。

生徒・保護者の共通項目として「分かり易い授業」「進路指導」に関しては、重要度の高さに対して、実現度がやや低いことが課題として読み取れます。さらに、学年特性は見受けられるものの、全体的に昨年と比べ、重要度の高い項目の実現度が下がっている傾向にあり、授業、行事などのさらなる充実が求められていることを念頭に、来年度適切な指導を行っていくことが肝要であると考えます。

「親しい人に本校を自信をもってすすめることができる」の項目で「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の割合が昨年と比べ、保護者と教員では上がりましたが、生徒ではやや下がりました。学校生活の満足度を上げていくことで、来年度、生徒の割合も増加することを願っています。

自由記述欄でも様々なご意見を頂戴致しました。一つ一つお答えすることはできませんが、今後の教育活動に活かしてまいります。今後とも、何とぞよろしくお願い申し上げます。

以上